

■米国：NJ州の原子力発電所に対する ZEC の適用が開始される

ニュージャージー州の公益事業委員会 (NJBPU) は 2019 年 4 月 18 日、州内で運転中のすべての原子力発電ユニットとなる、セーラム 1、2 号 (PWR)、ホープクリーク (BWR) に対して、「ゼロエミッション証書 (ZEC)」の適用を開始することを発表した。同州の ZEC については、2018 年 5 月に法制化された後、ホープクリークを所有およびセーラム 1、2 号をエクセロン社と共同所有する PSEG 社が、2018 年 11 月に適用申請をしていた。今回の決定により各原子力発電ユニットは今後 3 年間、1kWh 当たり 0.004 ドル、1 基当たり年間約 1 億ドルの受け取りが予測されている。なお、この金額等については 3 年後に NJBPU が再評価を実施する予定である。PSEG 社は今回の決定を受け、「州内のゼロエミッション電源の 90%以上を占める 3 基の原子力発電ユニットの価値を認め、数億ドルを拠出することにより、電気料金の上昇を防止し、数千人の雇用を保護した NJBPU の決定を歓迎する」とコメントしている。